

KBハゼ333

■屋根30分耐火構造 FP030RF-9325 FP030RF-9326

特長

- ハゼ折板の中で、最強、最長スパンに対応、強風・多雪地域の強度が必要な建物にお勧め
- 働き333mm、山高168mmと重量感があり、水密性・耐久性に優れています。

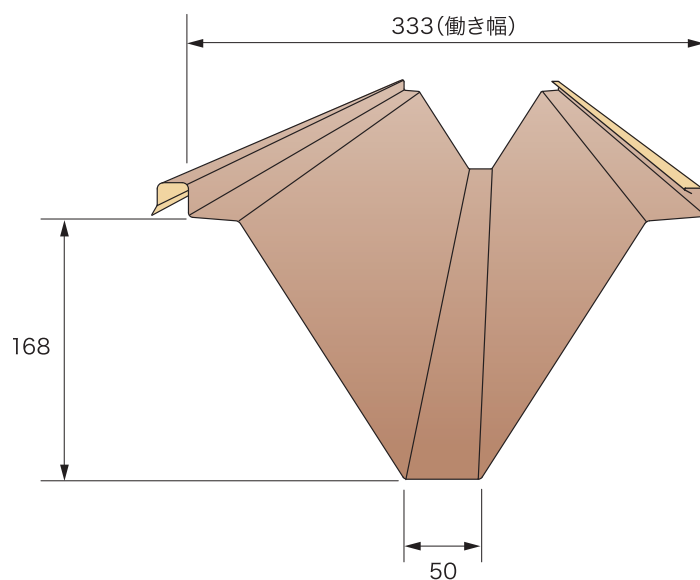
製品図

単位:mm

関東
BL

東北
BL

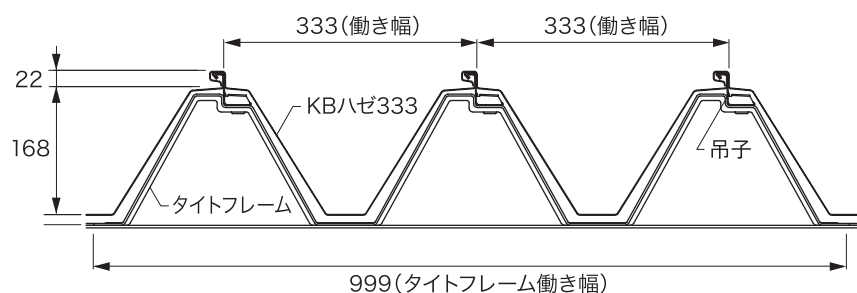
新潟



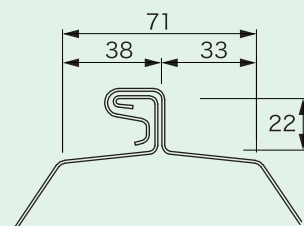
CAD
DATA

施工断面

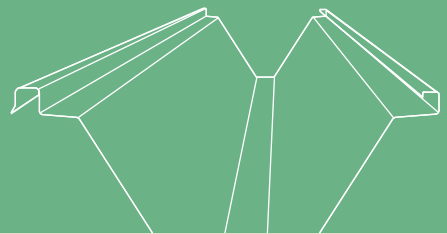
単位:mm



CAD
DATA



CAD
DATA



製品仕様

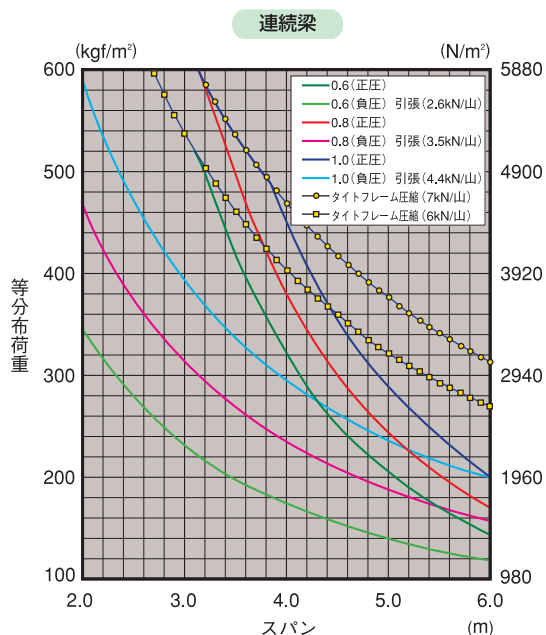
原板幅	610mm
適正板厚	0.8~1.2mm
使用材料	GL鋼板、フッ素鋼板、アルミめっき鋼板、他
適正勾配	3/100以上
自然曲率半径	250m以上
m ² あたり必要m	3.00m

断面性能

GL鋼板

板厚	単位重量		正 圧		負 圧	
mm	kg/m	kg/m ²	Ix(cm ⁴ /m)	Zx(cm ³ /m)	Ix(cm ⁴ /m)	Zx(cm ³ /m)
0.8	3.95	11.85	659	64.6	455	46.5
1.0	4.91	14.73	779	76.4	538	55.0
1.2	5.89	17.67	900	88.2	621	63.4

許容梁間（参考）



〔備考〕

- 左記の許容梁間は断面性能による計算値と、下記条件を考慮したグラフです。但し、タイトフレームは当社指定品とします。

許容圧縮強度：7 kN/山（シングル葺）

：6 kN/山（ダブルパック工法）

許容引張強度：屋根材0.8mm厚の場合は 3.5 kN/山

：屋根材1.0mm厚の場合は 4.4 kN/山

：屋根材1.2mm厚の場合は 5.6 kN/山

但し、吊子引張強度は馳締め施工の良否により大きく左右されます。

- 積雪荷重では、出来るだけ下記の限度内にてご使用下さい。

屋根材0.8mm厚：5 kN/m²以下

屋根材1.0mm厚：6 kN/m²以下

屋根材1.2mm厚：7 kN/m²以下

上記外でのご使用に際しては、別途ご相談下さい。

- 折板の軒のはね出しは、折板山高の5倍以内でご検討下さい。

但し、雪庇・巻垂れ・氷柱に対しては別途ご考慮下さい。

〔注〕多雪地・強風地域でのご使用には設計荷重の設定を十分ご考慮下さい。

多雪地域での積雪の単位荷重は、積雪量が多く根雪が圧雪状態になる地域や融雪・氷結を繰り返す地域等においては、30~60N/m²の範囲で荷重が想定されます。特にダブルパック工法はシングル葺きに比べ屋根の融雪が遅く、重い積雪荷重（平均40~55N/m²）が1月~3月に渡り残りますので設定荷重には十分ご注意ください。

尚、(社)金属屋根協会ではレベル係数(X=1.0~3.0)による割り増し荷重の設定を推奨しています。

注) 上記許容梁間は羽根付補強吊子使用で、参考値データであり保証値ではありません。

